

講演タイトル

「3.11 後の『対話と協働』」 ～演劇、探究学習を通じた子どもたちの成長～

講師 丹野 純一（ふたば未来学園高等学校長）

研修会趣旨

新学習指導要領は、一人一人の子どもたちが、「予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのか」という目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることを教育に求めています。そして、子どもの健やかな成長を願う臨床発達心理士も、こうした教育の理念を意識しながら支援していくことが求められています。

隣県の福島では、東日本大震災と原発事故によりいまだに8万人もの人々が避難生活を続け、原発周辺の双葉郡では解決困難な課題に日々向き合い、奪われた故郷を取り戻す戦いが続いています。その地に2015年に開校した福島県立ふたば未来学園高等学校では、子どもたちが向き合わざるを得ない厳しい現実から、学校の使命、すなわち教育目標を掲げるとともに、子どもたちに身につけたい資質・能力をルーブリックという形で明らかにし、その実現のためのカリキュラムを作り上げ実践しています。本講演では、演劇を通じたコミュニケーション教育と地域課題解決のプロジェクト型学習を中心に、未来を創造するふたば未来学園の取組を紹介させていただきます。

その後、研究協議の機会を設け、被災地の子供たちへの支援や今日の子供たちの抱えている様々な課題について情報を共有し合い、子どもの健やかな成長を願う者同士が問題意識を広め、深める機会をもちたいと考えています。

講師経歴

1966（昭和41）年福島県生まれ。東北大学法学部卒業後、福島県高等学校教諭となり、湯本高校、二本松工業高校、橘高校で社会科教諭、安積高校で教頭、県教育委員会で指導主事として学力向上関連業務、管理主事として人事管理業務に通算10年近くあたり、2015年（平成27年）高校教育課主任管理主事からふたば未来学園高等学校初代校長に就任。双葉郡広野町で単身赴任。

日 時：2018年5月26日（土）13：30～16：50（受付開始13時）

講演会 13：40～15：40 研究協議 15：50～16：50

会 場：宇都宮大学8A31教室(峰キャンパス8号館3階)

大学構内に駐車場を確保しておりませんので、公共交通機関をご利用ください。

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

http://www.utsunomiya-u.ac.jp/map/campus_map.php)

参加費用：会員及び学生は500円、非会員は1,000円(資料代)

参加対象：臨床発達心理士、一般（学生、教員、保護者他）

申込締切：平成30年5月19日（土）

※定員にならない限り、当日参加も受け付けますが資料等の準備の都合上、事前にご連絡をお願いします。

申込方法：「H30年度栃木支部5月研修会参加希望」と記して、E-mail または FAX でお申し込みください。 E-mail：jacdptochigi@yahoo.co.jp FAX：0282-22-5743

※電話による問い合わせ：國學院大學栃木短期大学心理学研究室佐藤（0282-22-5511）まで。

IDカードと資格更新研修会記録ノートを御持参ください。なお、今回の更新ポイントは1ポイントとなります（遅刻者にはポイントは交付されませんので御注意ください）。